

4月
2025

高高図書館はみなさんの読書・探究を応援します

NO BOOK NO LIFE

高崎高校図書館へようこそ！

新年度がスタートして、あっという間に4月も残りわずかとなりました。ゴールデンウィークは、読書を楽しんでみませんか？

今月の図書館だよりは、新着任の先生のおすすめ本を掲載しています。様々なジャンルの本を紹介していただきました。これからの読書の参考にしてください！

全国の書店員の投票で選ばれたベスト10
2025年本屋大賞

売りたい本
いちばん！
全国書店員が選んだ
2025年本屋大賞

大賞 『カフネ』 阿部暁子(講談社)

2位 『アルプス席の母』 早見和真(小学館)

3位 『小説』 野崎まど(講談社)

4位 『禁忌の子』 山口未桜(東京創元社)

5位 『人魚が逃げた』 青山美智子(PHP研究所)

6位 『Spring』 恩田陸(筑摩書房)

7位 『恋とか愛とかやさしさなら』 一穂ミチ(小学館)

8位 『生殖記』 朝井リョウ(小学館)

9位 『死んだ山田と教室』 金子玲介(講談社)

10位 『成瀬は信じた道をいく』 宮島未奈(新潮社)

本屋大賞

全国の書店員の投票で選ばれたベスト10
2025年本屋大賞
書店員自身が選んで、いちばん読みたいと思った作品です。

Supported by **NOLTY**

手帳ブランドNOLTY[ノルティ]は本屋大賞を応援しています。

2025

今年の本屋大賞は『カフネ』阿部暁子著(講談社)に決定しました。本校図書館では10作品すべて揃っています。貸出中の場合は、予約可能です。

市立図書館のHPを閲覧したところ4月18日現在、『カフネ』は238人の予約が入っていました！高高図書館では、現在貸出中ですが予約は入っていません。昨年の本屋大賞受賞作『成瀬は天下を取りにいく』は、なんと270人予約が入っています。しかし、本校図書館ではすぐに借りられます！

皆さんの家族が読みたい本を借りてもらうのも大歓迎です。

New Teacher Recommended Book

高橋 直樹先生

図書館にあります！

(地歴・公民) 坂の上の雲 司馬遼太郎著 (文春文庫)

明治という激動の時代を背景に、秋山兄弟と正岡子規の青春と挑戦を描いた歴史長編。近代日本の形成と成長を、希望と覚悟をもって生きた人々の姿から感じることができます。

購入予定です！

中山 晋平先生 パズルで解く世界の言語 国際言語学オリンピック日本委員会 著 (研究社)
(国語) 言語学オリンピックへの招待

科学オリンピックの中では明らかにマイナーと言わざるを得ない「言語学オリンピック」の入り口になる本です。言語に関する知識は基本的にはほぼ不要で、「示された情報を比較していくと、その言語の特徴が明らかになっていく」という謎解きゲームのような内容です。みんなで言語学オリンピックを目指しましょう。

購入予定です！

伏島 悠平先生 大気を変える錬金術 ハーバー、ボッシュと化学の世紀 (みすず書房)
(物理) トーマス・ヘイガー 著

ハーバー・ボッシュ法は窒素をアンモニアに変える技術で、農業の肥料生産を革命的に変え、世界の食糧供給を支えました。しかしこの技術は戦争で毒ガスや爆薬の製造にも利用され、多くの死者を生む結果となりました。この本は、この技術を発見したハーバーとボッシュの成功を軸に、一方で科学の進歩には光と影があり責任を伴うことを示しています。その「影」の部分に関してボッシュは名言を残していて、そのまま理系を目指す高崎高校生全員に送りたいのですが、この原稿の字数制限のためここに書けませんでした。ぜひ読んでみてください。

図書館にあります！

木暮 良樹先生 理由がわかればもっとおいしい！
(化学・生物) コーヒーを楽しむ教科書 (ナツメ社)
井崎 英典 監修

コーヒーにハマったら(ハマリかけたら)ぜひ一度読んでほしい一冊です。専門店で呪文のように書かれている豆の産地や精製方法、風味etc.本書ではそれぞれの味の特徴を理解したり、豆のポテンシャルを発揮できる淹れ方を学んだりすることができます。コーヒー沼に入りかけのあなたに読んでもらいたい・・・！